

## 式 辞

冬の寒さも日増しに和らぎ、校庭の木々にも新しい春の訪れが感じられるこの佳き日に、公務ご多用の中、PTA会長 北村辰一（きたむら しんいち）様、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに令和2年度、第73回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもちろん、在校生、教職員一同、大きな喜びであり、心よりお礼申し上げます。

ただいま、卒業証書を授与いたしました、146名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。将来への夢や希望で胸を膨らませ、この新しい人生の門出に際して、決意も新たに、身を引き締めていることと思います。

また、この日まで、お子様の勉学を支え、励ましてこられた保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

振り返りますと、昨年3月より臨時休業に入り、生徒の皆さんにも、私たち教職員にとっても、かつて経験したことのない長い休業期間がありました。学習が予定どおりに進まなかったこと、部活動の大会や発表会が中止になったこと、友人とともに過ごすかけがえのない時間が持てなかったこと等、受け入れがたい現実に、悲しくやりきれない気持ちになる場面も数多くあったでしょう。これまであたりまえの日常だと考えていたことが、決してそうではなく、何事にも全力で取り組めることがいかに幸せなことであるのかを感じたことと思います。

6月の学校再開後は、「新しい生活様式」を意識した学校生活が始まることとなりました。夏季休業中に県独自で行われた、部活動の大会や発表の場では三年間の集大成として皆さんが躍動する姿を見ることができました。

また、「バレット～イロトリドリ～」をテーマに、二日間の日程で行われた学校祭。各色、三年生がPTAの方々からも資材の提供や技術指導を受けるなど力を借りて、各部門とも完成度が非常に高く、見ごたえのある内容となっていました。準備も含め、学校祭期間中の皆さんの姿は、気概にあふれていました。感動をありがとう。

さて、三国高校は今年度、文部科学省『令和2年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業』の推進校に指定され、「あったらいいね」をカタチにする！～シビックプライドを持ったコミュニティデザイナーを育てる～をタイトルにした研究開発プログラムを進めております。この事業への指定は、卒業生の皆さんの一年生からの取り組みが評価された結果だと思っています。

一年生の総合的な学習の時間に取り組んだ「空き家活用プロジェクト」、東大生やUDCS（アーバンデザインセンター坂井）からのレクチャーやアドバイスを受けながら、地元の課題について現地調査等を実施しました。その調査結果を基に、空き家や空き地の効果的な利用法として「イベント」を企画・立案・発表・実行し、三国にふさわしいまちづくりについて考察しました。

『タイムスリップ店』、『ぬくぬくプラネタリウムカフェ』、『ゼロからの Challenge ～和

洋折衷〜』、『水族館カフェ』。平成30年12月27日に1日限定でオープンした空き家を使った4つの店の名前です。どの店もコンセプトに基づき、地域の菓子店や料理店の協力を得て、工夫を凝らした店となっていました。ふるさとの将来や自分たちにできることは何かを考え、活動していました。

二年生では、「地域の未来について提言を行う」をテーマに、地域の課題を発見し、どうすれば課題を解決できるか、自分たちの解決策を考え、代表チームが坂井市議会において高校生一日議会で提案しました。

「答えのない課題に対して、自分で考え、自主的に体を動かして取り組む生徒に、教師側も大学や地域の方々と走りながら考え 支援をしていた。生徒自身が自分の成長を感じ、自信をつけていく姿を見ることができた。」この取り組みに携わった先生の感想です。

今、社会は、何事にも積極的に行動する力、自ら課題を発見して、自分事としてその課題に取り組み、解決しようとする力、他者と協働して物事を成し遂げる力を備えた人材を求めています。皆さんは、学びの場を地域に広げることで、社会は多様であり、今の学びは未来へつながっていることを実感し、「自分らしく」社会に貢献する経験をされました。これからは、皆さんひとりひとりがその経験を生かして、広い視野に立ち、自分の良さや個性を伸ばし、これからの社会を支える人材となってください。

皆さんがまいた種は、皆さんひとりひとりが大切に育て続けたことで根付き、芽吹いて幹となりはじめました。この幹を三国高校の力として地域の活力につなげるとともに、枝葉を伸ばして三高生の新たな学びにつながる活動を進めて参ります。

最後になりましたが、お子様の成長を支えてられました保護者の皆様には、これまで様々なお苦勞を乗り越えられ、本日を迎えられることと思います。この三年間、本校の教育活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。本日、成長著しいお子様を保護者の皆様と一緒に送り出せますこと、教職員一同誇りに思っております。

卒業生の皆さんの洋々たる前途が健やかに、そして幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和三年三月一日

福井県立三国高等学校長 上山 康一郎